

一般質問

6月定例会は、中西議員・本村議員から一般質問があり、その趣旨をお知らせいたします。



中西議員

【質問】

学校の2学期制について

国の学習指導要領が新しくなり、今までのゆとり教育の流れから、「ゆとり」でも「詰め込み」でもなく「生きる力」を育む教育を目指すとなっておりますが、教育内容が拡充されたために授業数の確保や授業の効率化のために、学校の授業を3学期制から2学期制にする学校があるようです。その様な中ですが2学期制に移行した学校の中でも思ったような効果が得られず試行錯誤が繰り返されて

いるようです。教育長のお考えをお聞かせください。

【答弁】

教育長

現時点では、2学期制に向けての議論を急ぐ必要はない。

本年4月から小学校では新しい教育課程に基づく学校運営が始まっており、2年間の移行措置を踏まえての全面実施は現在、円滑に進められているところです。一方、全面実施を来年度に控えている中学校におきましては、その準備を万全に期したいと考えております。

さて、2学期制についてはですが、小学校は3学期制で良いと思います。子供たちに対しての通信簿などの評価の回数が多ければ多いほど、親たちの子供に対し

ての理解、学校に対しての信頼関係が生まれてくると思うのです。

中学校については、増加する授業時数をいかに確保するかが課題であり、2学期制を導入することで始業式や終業式の回数を減らせる、期末テストまでの期間を長くとれることで、小テストを併用しながら授業内容を深めてゆけると言ったメリットがありますが、定期テストや通信簿の回数が減るので学力の実態把握が遅れてしまうと云ったデメリットもあり、本町では3学期制で良好な学校運営がなされていることから、時間をかけて調査・研究し議論を尽くしてもらえればと考えるところです。

【質問】

学習塾のリスト

平成23年度教育行政執行方針の中で、子供たちのより確かな学力の定着を目指すとなっていて、将来の夢を形にするために必要な教

育を、高校・大学で学ぶことが出来る基礎学習能力を付け、授業についていけない子供たちを減らし、子供たちや学校全体の学習力を高めたいとの強い思いを感じました。

そこで、塾の運営方法や学習内容など、また導入の時期などお考えをお聞かせください。

【答弁】

教育長

いくつかの検討課題について、学校内部での意見集約をお願いしている段階

4月から教育関係者が集まる会議等で試案を提示して、それぞれの立場でご検討を頂くようお願いしたところです。

試案では対象を中学生としました。

小学生は勉強の大切さよりは、読書をしたり、虫取りなどの自然体験をしなから目には見えない学力を大きく膨らませることが、中

学校へ行つての学校の基礎となると考え、小学生を対象にした塾はしません。

ところが中学校は、ある程度の学力を培っていかなければならず、創意工夫をする姿勢や知的好奇心をもつて探究する学習態度を養って欲しいと考え、塾では「授業での理解が充分でなかった箇所や不得意分野の克服」、「過去に学習した単元で分らないままにしてきた箇所についての学び直し」といった事を主眼に、自学・自習と生徒同士がお互いに教え合いながら、必要に応じて教師が指導すると言う方法での運営を考えています。

塾の開設時期は10月から12月までとし、会場は中学校としておりますが、開設する曜日や開設時間、対象とする教科など実施するにあたって幾つかの検討課題も生じており、ある程度の内容が固まった時点で保護者にもお知らせし、ご理解とご協力をいただきます。



本村議員

【質問】
芸術文化活動の充実と

支援について

生涯学習の町を宣言して久しくなります。一生が学習であることを理解し、町民の皆さんがスポーツや趣味・興味にあわせ多彩に活動されております。自ら企画したコンサートなども開催されております。田舎に居ながら定期的に声楽家の歌唱・楽器演奏などの芸術に触れることは、潤いがでて元気で楽しい生活が送れると強く感じております。それが町の活力や活性化に繋がると思います。町民自らの企画に対しての支援と芸術・文化事業の充実をお願いしたい。また、町内在住の音楽指導者の方々を社会教育の場でご協力頂いてはどうか。

【答弁】

教育長

自主、自発的な活動が大切であり、必要な支援に努めている

多くの町民がスポーツや芸術・文化活動に親しみ生涯学習の目指す理念が徐々に定着しつつあると感じております。

芸術・文化活動は高齢化により活動の縮小、会員数の減少により休止している団体もある一方で地道な活動を通じて小学生を中心に文化祭での素晴らしい発表をされた団体もあります。

また、町内で自主的な活動による素晴らしいコンサートが開催されており、こうした活動が町の芸術・文化活動の振興に大きく寄与していることに敬意を表するところであります。

豊かな情操を涵養する芸術・文化は、潤いをもたらすものであり、社会教育としても重要な事業として位置付けております。特に芸術・文化の鑑賞は、演奏者や演技者の熱気と臨場感、またそれらがもつ奥深さを肌で感じる事ができ、こうした鑑賞事業は毎年開催しております。さらに、公民講座でも人形劇の鑑賞も取り入れ多くの方が芸術・文化に親しんでもらえるよう努めております。

町民の自主企画による活動支援については、現在実行委員会を組織しブラス楽器によるコンサート開催に向けての活動を進めておられます。委員会といたしましても自発的活動を大切に支援や事業費補助の相談に努めており先般は道教育委員会から補助金に関する内示も受けたところであります。

また、指導者に学校活動などでご協力頂けるよう町広報誌を通じて周知につとめており協力も頂いております。やはり、芸術・文化

人事

を愛好する方々が自主的にサークルをつくられ活動の中で指導を仰ぐことが望ましい形と思うところであります。

今定例会では、固定資産

評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員・秩父別町農業委員会委員の推薦についての人事案件が提出され満場一致で同意致しました。

〔固定資産評価審査委員会委員〕

新盛町内

永守 礼子 氏
新任

昭和31年1月26日生

〔人権擁護委員〕

中央西町内

木谷 登子 氏
新任

昭和22年6月26日生

〔秩父別町農業委員会委員〕

南町内

造田 聡 氏
再任

昭和28年3月7日生



総務経済常任委員会

5月31日 事務調査

企画課所管事項について担当者から説明を受け、質疑応答により調査を実施しました。

○調査報告及び意見

昨年販売を開始した定住促進団地については、1平方メートル1円というインパクトのある販売価格で話題性が非常に高く、多くのマスコミで取り上げられたこともあり、大きな反響を呼んだところである。13区画のうち7件11区画の申込みがあつたが、その後、残念ながらキャンセルが1件発生している。

今年度は、道路新設、区画造成、上下水道等の整備が行なわれるところであり、北空知の中心に位置する「地の利」を生かして、本町

に通勤する若者世代へのアピール等の周知活動の推進により13区画を完売し、さらには、第2期造成に繋がるように期待するところである。

又、継続して実施される「定住奨励金」・「結婚祝い金」等の定住促進対策事業、町民の自主的な地域活動を推進する「公用車貸出事業」「提案型まちづくり事業補助金」等により、定住人口の増加と町民の自主・自発的なまちづくりの取組みがさらに活発になることが期待されるものである。

さらには、「街路灯のLED化」・「住宅用太陽光発電システム設置補助金」等の時代の要請にあつた新規事業の実施にも注目するところである。

なお、昨年リニューアルした秩父別町の新しいホームページは見やすいデザイン、使いやすい構成で評判

空知町村議会議長会 議員研修会開催

議員研修会開催

6月29日、空知町村議会議長会の議員研修会が妹背牛町民会館で開催され、元道副知事で学校法人酪農学園理事長麻田信二氏を迎え「東日本大震災からこれからの社会を考える」と題す

が良くと聞いている。特に、まちのタイムリーな話題を写真で紹介する「ちっぷるぐ」は人気が高いとのことであり、今後は動画による町の紹介なども検討され、本町のピールに努められたい。

る講演を受けた。

麻田信二氏は、道庁入りして以来、農政畑一筋で歩み副知事に就任するが任期半ばで退き、長沼町で果樹農家に転身しブルーベリーやハスカップなどの小果樹の無農薬栽培をしている。

また、北海道生活協同組合連合会会長、北海道スローフード&フェアトレード研究会顧問、北海道の有機農業をすすめる会代表も務めている。

講演の中で、日本は経済の長期低迷、国・地方自治体の財政悪化、少子高齢化の進行、経済格差の拡大などの多くの問題を抱える中、大震災と原発事故にみまわれた。3・11の震災後、文明とは何なのか問われており大きな転換期を迎えているのではないかと。

そういった中であつて、北海道には全国有数のすばらしい農地があり日本を救う可能性があると思われ、市町村がそれぞれ自立心を

持ち、地域発展に向けたまちづくりや、人材育成を自分たちの手で積極的に進めていくことが大切と述べた。

また、空知で盛んなグリーンツーリズムなどを例に「自然と触れ合いながら作物を育てることは生きる力を養う」と指摘し、子供たちの教育課程に農業体験の重要性を強調した。

更に、原発事故に関して、子や孫が安心して暮らせる環境を目指さなければならぬ。太陽光や風力発電など自然エネルギーを促す制度を地域で取り入れてはどうかと呼びかけ、地域からも安全な環境作りに向けて発信していくことが必要と述べた。



総務経済常任委員会



空知議員研修会

綾川町を表敬訪問 交流のさらなる深化を

7月4日に神薮町長とともに全議員が、姉妹町である香川県綾川町を表敬訪問しました。

役場庁舎内で綾川町の現況等の説明を聞いた後、現在、建設中である生涯学習センターや介護老人保健施設「あやがわ」を視察しました。

香川県の農業試験場を綾川町に誘致したのをはじめ、映画館を併設した大型商業施設や大型家電量販店の誘致など、「いきいきと笑顔あふれる定住のまち」を目指していることを実感できる、輝かしい発展を遂げていました。また、視察後盛大な歓迎を受け、友好を深める有意義な訪問となりました。

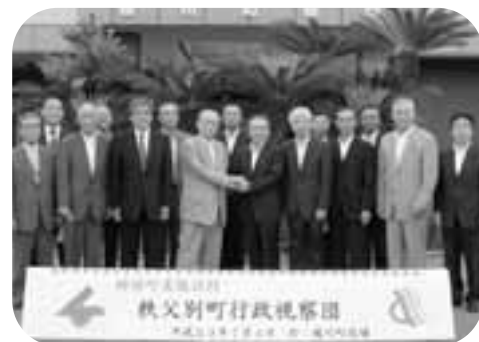
行政視察報告

◎綾川町

子供たちは生き生きと
老後は楽しく健やかに！

議会の行政視察として7月4日から4日間の日程で、姉妹町の綾川町と、愛媛県四国中央市で「霧の森大福」の開発・販売を行っている株式会社「やまびこ」を訪問し、特産品の開発力などについて学びました。

現在建設中の生涯学習センターは、図書館を中心として展示室、編集室、学習室、児童室からなり、図書



館の蔵書は4万冊を予定しており、その内、児童書関係で8千冊を大型絵本や紙芝居なども含めて揃えるとのこと、来年の4月1日に開館するそうです。

また、介護老人保健施設「あやがわ」は平成21年4月20日に新築され、鉄筋コンクリート3階建ての病院併設型の施設です。

利用定員は入所が60人、通所が20人となっており、利用率が90%以上で施設の運営は健全であるとのことでした。

また、施設が丘の上にあることから、窓からは綾川

はもちろん金刀比羅の山並みが見え入所者の皆さんの心を和ませているとの説明でした。

◎株式会社やまびこ

物を買うのではなく、
真心を買ってもらう！

「やまびこ」は、高知自動車道の新宮インターチェンジをおりた山間の人口1,400人の過疎の村が、村の命運を掛けたプロジェクトとして立ち上げた会社です。（現在は合併により四国中央市新宮町）

無農薬で栽培している特産の新宮茶を利用した特産品の開発と、観光施設「霧の森」の運営を行って、当初は赤字経営でしたが、「霧の森大福」のヒットにより現在は黒字経営とのことです。

現在では年間25万箱を売るまでになっている「霧の森大福」ですが売れるきつ



新宮茶ミュージアムでお茶の歴史を学ぶ

かけは、インターネットを利用した販売方法で、丁寧で親近感が湧く対応を心がけたことと、最近ではなかなか手に入らない希少性から、霧の森に出来ない手に入らないとアピールできたことから来場者も増加しているようです。

なお、今回の視察にあたり、綾川町及び「やまびこ」の関係者の皆様に大変お世話になりましたことを厚くお礼申し上げます。

第4回臨時会

第4回町議会臨時会は4月28日に開催され、駅前団地単身者住宅新築工事請負契約締結案を原案どおり可決し、閉会した。

工事名

駅前団地単身者住宅新築
工事

指名競争入札 請負業社名

北垣建設工業株式会社

請負金額

6,930万円

◆◆議会の傍聴に

来ませんか◆◆

次期の平成23年第3回町議会定例会は、9月中旬に開催されます。
お気軽にお越し下さい。

議会の主なごしゅぎ

【5月】

- 8日 札幌秩父別会総会
- 10日 地域水田農業推進協議会総会
産後継者育成推進協議会
- 13日 空知町村議会議長会臨時総会
商工会総会
- 15日 秩父神社敬老祭
開基117年・開町記念式典
- 17日 町議会議長・副議長研修会
(～18日)
- 19日 北空知議会議長連絡協議会総会
- 22日 東京秩父別会総会
- 25日 振興公社株主総会・取締役会
- 26日 観光協会総会
- 31日 農業振興基金運用委員会
中・北空知廃棄物処理広域連合
議会臨時会
総務経済常任委員会
議会全員協議会

【6月】

- 5日 小学校運動会
- 6日 北空知衛生施設組合議会議長臨時会
- 9日 議会町政討論会
議会運営委員会
- 10日 北海道町村議会議長会総会

16日

- 議会全員協議会
- 第2回町議会定例会
議会広報特別委員会
- 20日 北空知学校給食組合議会議長臨時会
- 29日 空知町村議会議長会議員研修会

【7月】

- 1日 戦没者追悼法要
- 4日 綾川町表敬訪問・視察研修(～7日)
拓魂祭
- 8日 秩父別消防団消防操法訓練大会
- 12日 秩父別消防団消防操法訓練大会
隊員壮行会
- 14日 秩父別消防団消防操法訓練大会
- 19日 議会広報特別委員会
英語指導助手送別会
- 22日 衆議院議員小平忠正を囲む納涼の集い
- 25日 北空知広域水道企業団議会議長臨時会
- 26日 北空知葬斎組合議会議長臨時会
- 27日 北空知地区消防組合議会議長臨時会
北空知連合消防演習
- 28日 中・北空知廃棄物処理広域連合議会議長臨時会
臨時会

【8月】

- 1日 秩父別町戦没者追悼式
- 3日～5日 空知町村議会議長会中央要望実行運動

編集後記

◆第2回定例会の傍聴のご案内の新聞折り込みを見ていただけたでしょうか。

今回から議員を紹介する似顔絵が変わったので、全議員の似顔絵を載せてありました。特徴を前面に出して描いてあったので、少々不満のある議員もいるとかいなとか。でも町民のみなさんに傍聴に来て頂きたいとの思いでこの広報も新聞折り込みも作っています。

この広報の記事も議員自らが執筆しているのですが、限られたページで文字にならなかつたところは沢山あります。

その様な訳で、是非一度お友達を誘って議会傍聴をしてみてください。

(中西)





7/9
 保育所大運動会がふれあいプラザで行われ、大勢の家族が応援に駆けつける中、子どもたちは元気にかけっこや玉入れの競技をこなし、特に遊戯では、可愛らしいしぐさに観客から拍手が送られていました。

広報に掲載した写真をご希望の方、広報に関するご意見ご要望は、総務課総務グループ（広報担当）までご連絡願います。
 ※写真は電子メール送信による提供も可能です
 ・電話 33-2111（内線31番）
 ・メール kouhou@chippubetsu.jp



7/12
 保育所で行われた交通安全教室では、秋山駐在所長から横断歩道の正しい渡り方や歩道の歩き方を教わりました。その後JA北いぶき本所前の横断歩道で、実際に押しボタンを押して渡る練習を行いました。



7/10
 ちっぷフェスティバルinローズガーデンがふれあいプラザで行われ、会場には大勢の来場者が訪れ、もちまきやなぞなぞ大会で楽しんだり、余興では太鼓と獅子舞の迫力ある演出に、観客らから大歓声が沸いていました。



7/29
 小学校では、夏休み期間を利用したジャンプアップ教室が行われました。全児童が対象で、夏休みの宿題などを持ち寄って、先生に教えてもらいながら勉強していました。



7/22
 夏の交通安全運動期間中、秩父別町交通安全協会と秩父別町交通安全指導員会主催の「交通安全24時間特別街頭啓発」が井上木材前の国道233号線沿いで実施され、国道を走る車に交通安全を呼び掛けました。